1603M783

# レンジフードファン取付説明書

**取扱説明書・取付説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。**

壁スイッチ仕様・連動ダンパー仕様で補足説明書が同梱されている物は、それにもとずき電気工事を行ってください。

## 安全上のご注意

**●取付の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。**
**●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。**

⚠警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠注意：人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

### ⚠警 告

**●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと**
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

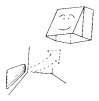
分解・修理・改造禁止

**●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること**
漏電した場合、発火したり感電することがあります。

取付注意

**●自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口(給気口)により十分給気される配慮をすること**
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

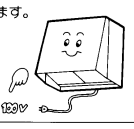
給気注意



### ⚠注 意

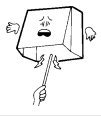
**●交流100V以外では使用しないこと**
火災・感電の原因となります。

使用禁止




**●運転中は羽根の中に指や物を入れないこと**
けがをすることがあります。

接触注意



**●羽根や部品の取り付けは確実に行うこと**
落下によりけがをする恐れがあります。

取付注意

**●本体の取付け工事は十分強度のあるところを選んで確実に行うこと**
落下により、けがをすることがあります。

取付注意

**●配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行うこと**
誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。

取付注意

**●浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと**
（浴室用換気扇をお使いください。）
感電および故障の原因になります。

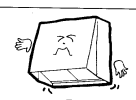
使用禁止

## 取り付け前の調査と準備

### ⚠注 意

**●レンジフードファン本体の取り付け工事は十分強度のある取付け面または補強桟等に確実に行うこと**
落下によりけがをすることがあります。
壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。

**●レンジフードファン取り付け面の木部に、取り付け用木ねじが確実に届いているかを確認すること**
本体の取り付け用木ねじは、45㎜の長さのものが同梱されておりますが壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取り付け用木ねじが確実に木部に届くことを確認してください。



取付注意

1. **取り付け面の強度確認** …… 製品を支える強さが必要です。

| | 重 さ |
|---|---|
| 600幅 | 14.0kg |
| 750幅 | 17.0kg |
| 900幅 | 20.0kg |

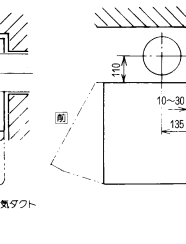
■板張りの場合
- 板厚が20㎜以上の場合は直接板に取り付けてください。
- 板厚が20㎜以下の場合は壁に補強板を埋め込み補強板にレンジフードファンを取り付けてください。

■コンクリート、タイル壁の場合
- あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

■土壁の場合
- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでおいてください。

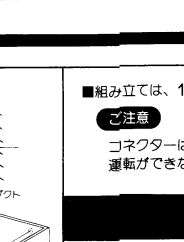
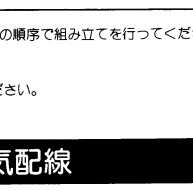
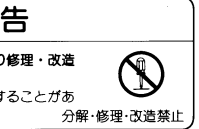
2. **別売部品の準備**
排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。（詳しくは別売部品の項を参照ください。）

3. **標準取付寸法**
本製品の標準取付寸法は、ガス器具の上面からレンジフード本体下面まで80㎝です。
※火災予防条例では、グリスフィルターの下端がレンジの真上80㎝以上必要となっています。

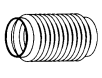



4. **電源コンセント**
コンセントは専用コンセントを設置してください。(交流・単相 100V)
コンセントは、15A 125Vをご使用ください。

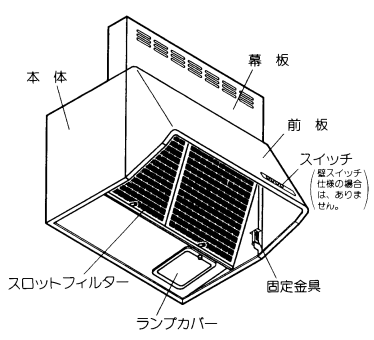
## 取付上のご注意

| | |
|---|---|
| ●ガス器具の幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。<br>ガス器具はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。<br>排気効率が低下します。 | ●レンジフードファンの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラス網等）と接触しないように、十分注意して工事してください。なお、本体の壁への埋め込みは、絶対にやめてください。<br>漏電した場合発火することがあります。 |
| ●排気工事をされる場合建築基準法（同施行令）および消防法等の関連法規に従って施工してください。 | ●非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。 |
| ●周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないでください。<br>火災・故障の原因となります。 | ●製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。 |
| ●電源は専用コンセントを設けてください。<br>火災・感電の原因となります。 | ●製品の取付工事には手袋を着用してください。<br>薄板の切り口などでけがをする恐れがあります。 |
| ●製品はガス器具の真上に取り付けてください。<br>なお、製品取付高さは、製品の下端がガス器具の真上80㎝以上になるようにしてください。<br>  | ●レンジフードファン下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また、横方向50㎝以上離して取り付けてください。<br>湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。<br>  |
| ●建物が密閉されている場合は必ず、約400㎠程度の空気取入口を設けてください。<br>●部屋の中央で料理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。 |  |

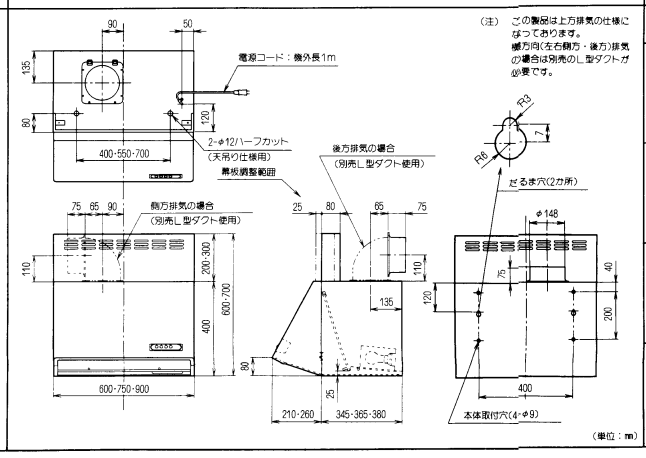
## 別売部品

| 品 名 | 略 図 | 用 途 | 品 名 | 略 図 | 用 途 | 品 名 | 略 図 | 用 途 | 品 名 | 略 図 | 用 途 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| L 型ダクト（LD-15） | | 左右側方、後方排気のときに使用します。 | 防火ダンパー付きウエザーカバー（WK-15DK） | | 外壁に取り付け、雨の浸入を防ぎ、防火の役目もします。 | 丸 型 フ ー ド（VC-15H） | | 外壁に取り付け雨の浸入を防ぎます。 | 深 型 フ ー ド（VCL-15H） | | 外壁に取り付け雨の浸入を防ぎ、ます。 |
| パイプフード（WK-15K） | | 外壁に取り付け雨の浸入を防ぎます。 | ジャバラダクト（FJ-15） |  | 直接排気の中間ダクトとして使用します。 | 防火ダンパー付き丸 型 フ ー ド（VC-15DH） | | 外壁に取り付け雨の浸入を防ぎ、防火の役目もします。 | 防火ダンパー付き深 型 フ ー ド（VCL-15DH） | | 外壁に取り付け雨の浸入を防ぎ、防火の役目もします。 |

## 各部の名称




## 製品寸法図



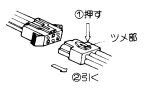

## 付 属 品

| 品 名 | 略 図 | 用 途 |
|---|---|---|
| 木 ね じ | （φ4.5×45）2本 | 本体の取り付けに使います。 |
| 座付ねじ | （φ5.1×45）4本 | 本体の取り付けに使います。 |
| 排 気 口 | 1個 | 本体とダクトの接続に使います。逆風防止シャッター付です。 |
| ソフトテープ | 1本 | 排気口とダクトとの隙間をふさぐのに使います。 |

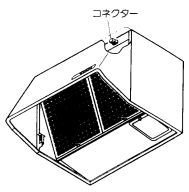
## 取 り 付 け か た

### 1. 本体の準備

(1) コネクターを外します。
①のツメ部を押しながら、②の方向へ引き抜きます。



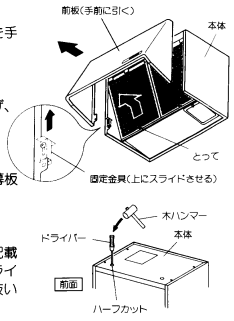

ご注意
壁スイッチ仕様の機種にはコネクターはありません。




(2) 前板を外します。
固定金具を上にスライドさせ、前板を手前に引いて外します。

(3) スロットフィルターを外します。
フィルターのとってを持って上にあげ、手前に引きます。

(4) 付属品の排気口、幕板を準備します。
輸送用パッキン部に同梱の排気口、幕板を取り出してください。




(5) 天吊り仕様の場合は、製品寸法図に記載されている2-φ12ハーフカットをドライバー等を当てて木ハンマー等で打ち抜いてください。




### 2. 排気方向の決定

#### ⚠警 告

**●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属性ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること**
漏電した場合、発火したり感電することがあります。

取付注意

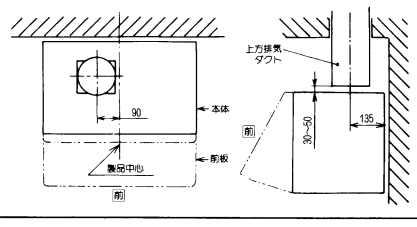
#### ⚠注 意

**●浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと**
（浴室用換気扇をお使いください。）
感電および故障の原因になります。

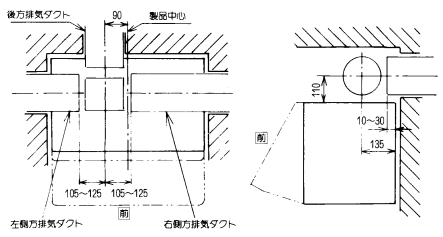
使用禁止

(1) 製品寸法図を参照し、壁穴を開けてください。
(2) φ150のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを下図のようにレンジフードファンの天面に突き出すようにセットして、周囲を仕上げてください。
（コンクリート、タイル、土壁の場合）

■上方排気の場合



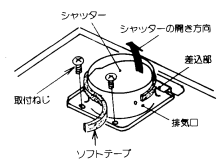

■側方および後方排気の場合（別売のL型ダクトを使用する場合）



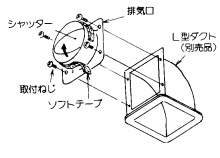

### 3. 排気用部品の準備

1. **本体の準備** の項で取り出した排気口を準備してください。

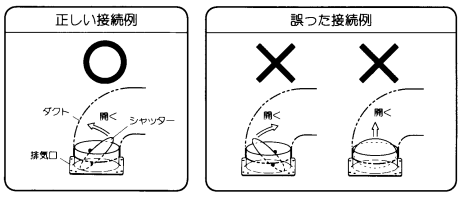
■上方排気の場合
排気口に付属品のソフトテープを貼り直接本体に取り付けます。
排気口は本体上面の差込部に差し込み、取付ねじ2本で取り付けてください。
**（取付ねじはあらかじめ本体の排気口取付部に止めてありますので外してご使用ください。）**




■側方および後方排気の場合
**（別売のL型ダクトを使用する場合）**
排気口に付属品のソフトテープを貼り別売のL型ダクトに取り付けます。
排気口は、L型ダクトに付属の取付ねじ4本でL型ダクトに取り付けてください。




ご注意
別売のL型ダクトを使用しないで、排気口に直接ダクトを接続して側方・後方排気する場合は、シャッターの開く向きに注意して排気口を取り付けてください。
下図の「誤った接続例」の場合、排気不良や異常音の原因となります。




### 4. 本体の取り付け

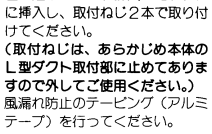
#### ⚠注 意

**●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行うこと**
落下により、けがをすることがあります。

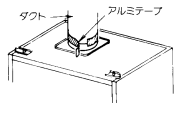
取付注意

### 5. ダクトと排気用部品の接続

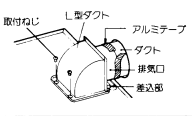
ご注意
テクスねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじが当たらないように図のテクスねじ使用範囲内に固定してください。




■上方排気の場合
風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）を行ってください。



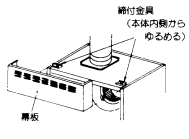

■側方および後方排気の場合
**（別売のL型ダクトを使用する場合）**
(1) L型ダクトを本体上部の差込部に差し込みながら、排気口をダクトに挿入し、取付ねじ2本で取り付けてください。
**（取付ねじは、あらかじめ本体のL型ダクト取付部に止めてありますので外してご使用ください。）**
(2) 風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）を行ってください。




### 6. 幕板の取り付け

(1) 幕板締付金具のねじ（左右各1カ所）をゆるめ、幕板を前からさしこんでください。

(2) 幕板の取付位置を決め、幕板締付金具のねじを締め付けて固定してください。

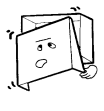



### 7. 組み立て

#### ⚠注 意

**●羽根や部品の取り付けは確実に行うこと**
落下により、けがをすることがあります。

取付注意



■組み立ては、**1. 本体の準備** の項と逆の順序で組み立てを行ってください。

ご注意
コネクターは確実にさしこんでください。
運転ができない恐れがあります。

### 8. 電気配線

#### ⚠警 告

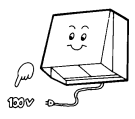
**●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと**
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

分解・修理・改造禁止

#### ⚠注 意

**●交流100V以外では使用しないこと**
火災・感電の原因となります。

使用禁止




**●配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行うこと**
誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。

取付注意

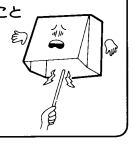
■コンセントは専用コンセントをご使用ください。
■電源プラグをコンセントに差し込みます。

### 9. 試運転

#### ⚠注 意

**●運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れないこと**
けがの恐れがあります。

接触注意



■スイッチを押して運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書の4ページをご覧ください。
■運転時、強、弱の排気が正しく行われていること。
■異常な騒音、振動がないこと。

### 10. お客様への説明

■取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
■取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

〔製造元〕 **富士工業株式会社**
本社・営業部 〒229-0006 相模原市渕野辺2丁目1番9号
TEL 042(753)1001(代表) 042(768)3754(営業部)